

## <<< JARL 信越地方本部 コンテスト委員会より >>>

今年もJA0-O S OならびにVHFコンテストにご参加いただき、ありがとうございました。委員会一同感謝申し上げます。コンテスト開催期間中および書類審査の中で感じたことを記載させていただきます。

### ・JA0 非常通信コンテストの、従来規約による開催の終了について

当コンテストの規約でもお伝えしましたとおり、本コンテストはこれまでの規約による開催を、今回をもって終了とさせていただくことになりました。

ここ数年の急激な参加局の減少、それに伴うコンテスト中の交信方法の変化（少ない参加局内でのマルチバンドによる交信の増加）等により、競技としてのコンテストの存在意義が低下してしまったことが終了の理由です。

ご存知のとおり、このコンテストは今回で第72回を迎える歴史あるものであり、古くは1964年に発生した新潟地震での非常通信まで遡るものであるとお聞きしています。その趣旨を受け継ぎ、規約自体も大きな変更をすることなく継続していくことを重要視してまいりました。

しかし残念ながらこのままではコンテストとしての体裁を維持できないばかりでなく、非常通信訓練としての意義も失われつつあります。

このことから、今般大幅な規約改正を検討しております。非常通信の意味を残しつつ、より多くの局が参加しやすく、また時代の流れに沿ったものとしてVoIPの活用などのアイデアを導入できればと考えております。規約詳細については検討中であり、皆さまからのご意見を取り入れる余地がございますので、当コンテスト委員会までお寄せいただきますようお願いいたします。

### ・今年のJA0-VHFコンテストと今後の展望について

開催日が悪天候となり、移動運用を断念もしくは規模を縮小された局が多かったようで、全体的に低調な得点となったようで残念です。参加局数も落ち込んでおります。しかし、本コンテストの参加局数自体はここ20年ほど堅調であり、今年の静けさは上記理由による一時的なものと考えております。

とはいえ、多くの方から「参加局が少ない」旨のご意見を（毎年）いただいております。書類提出局数がさほど減少していないにもかかわらず、です。そう「感じる」原因の一つとして、社団局の大規模移動が減少し、バンド内をにぎわせ、コンテストを盛り上げてくれる局の存在が減少しているからではないかと感じております。

個人局各局においても、聞こえている局を呼ぶだけで終わってしまっている方が多いのではないのでしょうか。確かに交信相手の絶対数は減少しており、CQコンテストを出し続けることも難しくなっている（体力が持たない？）とは思いますが…コンテストがさびしくなったと感じている方は、ぜひご自身から積極的な電波の発射をお願いできればと思います。

また、交信相手は自然に増加することはほぼ期待できない状況です。アマチュア無線局の減少はもとより、日本の人口そのものが減少し、少子高齢化が進んでいます。コンテスト期間内だけでなく日常的な自らのアクティビティー、他局との交流、一般の方々へのアマチュア無線のアピールと誘い込みが重要です。

「一人が1局誘ってコンテスト」これで参加局は倍になるはずですが、今後とも引き続き皆さまのご協力をお願い申し上げます。

2013年より開催しております「電信部門」、年々参加局が増加しており、うれしい限りです。コンテスト参加局の多くが3アマ以上の資格をお持ちです。資格はあってもモールスはちょっと… という方も、コンテストの短い交信からCWにチャレンジできる良い機会と思います。皆さまの更なるご参加をお待ちしております。

### ・電子ログの提出について

すでに十分定着した電子ログですが、一部に不備なものが散見されます。

#### ○メールのタイトルがコールサインになっていないもの

電子メールを受領した際、タイトルが「コンテスト書類送付について」等になっていると、メールを開封しないと送り主（コールサイン）がわからず、大きな作業ロスとなっています。JARL本部主催コンテスト等、書類の自動処理しているところではエラーになってしまいます（当コンテスト委員会はいまだに手作業処理ですが…）。メール本文中のあいさつ文等も不要です。シンプルに必要な事項のみお送りいただければ結構です。ご協力をお願いいたします。

#### ○得点計算が間違っているもの（JA0-VHFコンテスト）

コンテストログ等から自動で出力される場合は問題無いはずですが、手作業でテキストファイルの書類を作っておられる方も多いようです。その際に得点計算が間違っているケースがあり、こちらで交信記録から得点を再計算して審査する場合があります。それを防止するために、JARLコンテスト電子ログ形式は旧式のRev1.0を使用することをお勧めいたします。

### ・過去の「コンテスト委員会より」もご覧ください。

JARL信越地方本部コンテスト委員会のサイトの「過去のコンテスト結果」内に掲載してあります。皆様からの御意見に対する回答が書かれている場合があります。内容の基本的な考え方に大きな変更はありません。

以上です。コンテスト委員会では、私たちとともにコンテスト運営にご協力していただける委員を引き続き募集しています。興味のある方はぜひご連絡ください。

2025年7月4日

文責：JROBAQ/西山 浩平（JARL信越地方本部コンテスト委員長代理）